



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社スポーツフィールド 上場取引所 東
 コード番号 7080 URL <https://www.sports-f.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 篠崎 克志
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 亀田 高一郎 (TEL) 03-5225-1481
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	2,589	15.3	713	18.1	712	18.3	460	18.4
2022年12月期第3四半期	2,246	—	604	—	602	—	389	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 460百万円(18.4%) 2022年12月期第3四半期 389百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	127.11	121.84
2022年12月期第3四半期	108.22	103.06

(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2022年12月期第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年12月期に関わる各数値については当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2023年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	2,256	1,241	55.0
2022年12月期	2,127	780	36.7

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 1,241百万円 2022年12月期 780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,381	18.0	828	30.1	827	30.4	537	30.4	148.29

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 2023年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2023年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	3,636,160株	2022年12月期	3,616,160株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	448株	2022年12月期	392株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	3,626,496株	2022年12月期3Q	3,598,989株

(注) 2023年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間(2023年1月1日～2023年9月30日)における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復の動きが見られております。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響にも注意する状況は依然として続いています。

人材サービス業界において、2023年9月の有効求人倍率は1.29倍と3か月連続で横ばいとなっています。

このような経営環境の中、当社グループは「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時にスポーツが持つ可能性を様々なフィールドで発揮し、個人、法人、地域社会そして日本の発展に貢献すること」という経営理念のもと、スポーツ人財(※1)がスポーツを通じて培った素養を活かし、競技以外のビジネスというフィールドで輝けるよう、最適な企業と結びつけることに取り組んでまいりました。

(※1. スポーツに打ち込んだ経験を通じて社会・企業が求める高い価値を身につけた人財。新卒者においては、現役体育会学生、大学スポーツサークル・高校部活・クラブチーム等での競技経験者。既卒者においては、体育会出身者及び現役アスリートも含めたスポーツに打ち込んだ経験を持つ社会人。)

当社グループの主要3事業である、新卒者向けイベント事業、新卒者向け人財紹介事業、既卒者向け人財紹介事業については以下のとおりであります。

(新卒者向けイベント事業)

新卒者向けイベント事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は910,860千円(前年同期比8.9%増)となり、第3四半期連結累計期間において過去最高の売上高となりました。イベント開催数は、来場型の開催数が前年同期実績から増加し、一方で、オンライン型の開催数が減少したことにより、総数としては小幅減少となりました。販売枠数は、企業のイベント出展ニーズが強く、特に来場型・大規模イベントの販売枠数が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。2025年3月卒向けイベントへの企業の出展ニーズは引き続き強く、受注進捗は2024年3月卒向けを大幅に上回って推移しております。

(新卒者向け人財紹介事業)

新卒者向け人財紹介事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は916,185千円(前年同期比26.4%増)となり、前年同期実績を上回り過去最高となりました。2024年3月卒ユニーク紹介学生数(企業に紹介した重複しない学生数)は、前年同期実績を上回り、2023年9月末時点で2023年3月卒の最終実績を上回りました。また、過去最高であった2022年3月卒の最終実績も上回りました。2024年3月卒学生の登録者数が前年同期実績を下回ったものの、カバー率(登録者の内、面談対応により、アナログな関係が構築できている登録者の比率)の引き上げに注力したことが奏功しました。ユニーク紹介企業数(学生に紹介した重複しない企業数)は、企業の旺盛な新卒採用ニーズを取り込むことにより、前年同期実績を大幅に上回りました。ユニーク紹介企業数の増加に伴い、成約率・成約人数が前年同期実績を上回り、売上高は過去最高となりました。2024年3月卒学生向けのスポチャレ累計登録者数及びユニーク紹介学生数は、2023年9月末時点でともに2023年3月卒学生の前年同期実績を上回り、売上高の増加に寄与しました。

(既卒者向け人財紹介事業)

既卒者向け人財紹介事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は665,584千円(前年同期比10.9%増)となり、第3四半期連結累計期間の過去最高売上高を更新しました。第3四半期以降も企業の採用需要が底堅く推移したことにより、ユニーク紹介人財数(企業に紹介した重複しない人財数)及びユニーク紹介企業数はともに前年同期実績を上回りました。新規登録者数は、前年同期実績を小幅減少したものの、引き続き高い水準を維持しております。スポジョバからの人財紹介案件の増加が、ユニーク紹介人財数及び売上高の増加に寄与しました。

売上原価に関しては、新卒者向けイベント事業における来場型イベントの開催数増加に伴う開催費用の増加により、前年同期比で増加しました。

営業利益及び経常利益に関しては、販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高の成長率が費用の増加率を上回ったことにより、利益も過去最高となりました。人件費は、人員体制強化のための新卒採用社員及び中途採用社員の入社により前年同期比で増加しました。広告宣伝費は、既存事業並びに新規事業の登録者獲得のための戦略的投下により前年同期比で増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,589,190千円（前年同期比15.3%増）、営業利益は713,363千円（前年同期比18.1%増）、経常利益は712,533千円（前年同期比18.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は460,976千円（前年同期比18.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,256,703千円となり、前連結会計年度末に比べ129,376千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加に伴い流動資産が34,919千円増加、岡山オフィス移転及び本社オフィス増床に伴い固定資産が94,456千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,015,055千円となり、前連結会計年度末に比べ331,747千円減少しました。これは主に、借入金の返済、未払法人税等及び未払消費税等の支払いに伴い、流動負債が272,686千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,241,648千円となり、前連結会計年度末に比べ461,123千円増加しました。これは主に、利益剰余金が460,976千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年2月13日に公表いたしました2023年12月期通期連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2023年11月13日）開示いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,458,018	1,518,737
売掛金	313,915	277,644
その他	49,701	59,620
貸倒引当金	△1,533	△980
流動資産合計	1,820,101	1,855,021
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	146,851	184,422
工具、器具及び備品	34,299	65,977
減価償却累計額	△76,043	△89,954
有形固定資産合計	105,108	160,445
無形固定資産		
ソフトウェア	700	475
無形固定資産合計	700	475
投資その他の資産		
敷金及び保証金	154,742	167,207
繰延税金資産	46,664	73,544
その他	10	10
投資その他の資産合計	201,416	240,762
固定資産合計	307,225	401,682
資産合計	2,127,327	2,256,703

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,880	4,977
1年内返済予定の長期借入金	380,094	109,202
未払金	46,759	91,600
未払費用	115,511	113,048
返金負債	38,662	63,644
未払法人税等	233,990	161,462
未払消費税等	101,120	71,053
賞与引当金	42,612	97,773
その他	66,128	57,309
流動負債合計	1,042,759	770,073
固定負債		
長期借入金	249,962	174,938
資産除去債務	50,853	66,802
その他	3,227	3,242
固定負債合計	304,042	244,982
負債合計	1,346,802	1,015,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	93,079	93,185
資本剰余金	82,779	82,885
利益剰余金	604,975	1,065,952
自己株式	△309	△375
株主資本合計	780,524	1,241,648
純資産合計	780,524	1,241,648
負債純資産合計	2,127,327	2,256,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,246,490	2,589,190
売上原価	94,766	110,344
売上総利益	2,151,723	2,478,846
販売費及び一般管理費	1,547,493	1,765,483
営業利益	604,229	713,363
営業外収益		
受取利息	10	14
受取配当金	0	0
助成金収入	345	300
雑収入	1,295	730
営業外収益合計	1,651	1,044
営業外費用		
支払利息	3,384	1,783
その他	70	91
営業外費用合計	3,454	1,874
経常利益	602,426	712,533
税金等調整前四半期純利益	602,426	712,533
法人税、住民税及び事業税	247,627	278,436
法人税等調整額	△34,682	△26,880
法人税等合計	212,944	251,556
四半期純利益	389,481	460,976
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	389,481	460,976

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	389,481	460,976
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	389,481	460,976
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	389,481	460,976
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

主要な財又はサービス別に分解した収益の情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
新卒者向けイベント売上高	836,558	910,860
新卒者向け人財紹介売上高	724,849	916,185
既卒者向け人財紹介売上高	600,364	665,584
その他の収益	84,718	96,560
顧客との契約から生じる収益	2,246,490	2,589,190
その他の収益	-	-
外部顧客への売上高	2,246,490	2,589,190